

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I Comprehensive English I		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Ld	科目分類 外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 稲毛 逸郎 / Eメールアドレス: inage@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 教育学部 6F603 教員室 オフィスパワー: 水曜日 16:10~17:40			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話す、の4技能の力を、総合的にさらに伸ばすことを目標にする。</p> <p>授業方法: 英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す訓練を行い、また、リーディング用教材の英文を、要点を押さえながら、できる限り速く読み進める訓練を行う。</p> <p>授業到達目標: これらの英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる程度の総合的英語力の育成を目標とする。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>各授業の冒頭で、プリント教材を使用して英語の聴解練習(dictation を中心としたもの)を実施し、書き取った対話文を基に基本的な英語による発話練習を実施する。その後、英語の読解教材を基に、書かれている内容をできる限り正確に、かつ、速く読む練習を行う。同時に、基本的な文法、語句などについて整理して、今後の自主的な英語学習に結び付けていく。</p> <p>第1回: 受講にあつたての諸注意、授業内容についての導入、Unit 1 Age, Status, and Family 第2回: Politeness 第3回: Feedback 第4回: Rituals 第5回: Titles 第6回: Modesty 第7回: Heart-to-Heart Communication 第8回: Face-to-Face Communication 第9回: Proverbs, and Idioms 第10回: Textbook Language 第11回: Comparing 第12回: Politically Correct Language 第13回: Pronunciation 第14回: Agreeing, Disagreeing, or Simply Not Knowing 第15回 定期試験</p>			
キーワード	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書	教科書として Paul Stapleton (2005) <i>How Culture Affects Communication</i> , Kinseido. を使用する。第一回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入すること。その他、適宜、プリント教材を使用する。参考書として、手持ちの和英辞典、英英辞典を十分に活用すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(70%)、毎回実施予定の小テスト(10%)、授業中の発表活動(10%)、授業への参加状況等(10%)を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			